

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ E型肝炎の報告が1例(40歳代男性)があり、症状は発熱、肝機能異常です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年初めての報告です。
- ・ オウム病の報告が1例(30歳代男性)あり、症状は発熱、肺炎、感染地域は国内、感染経路は動物からの感染です。本年初めての報告です。
- ・ レジオネラ症の報告が1例(50歳代男性)あり、症状は発熱、咳嗽です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年初めての報告です。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が4例(80歳代男性1例及び女性2例、90歳代女性1例)あり、本年初めての報告です。
- ・ クロイツフェルト・ヤコブ病の報告が1例(70歳代女性)ありました。症状は進行性認知症、錐体路症状、視覚異常、無動性無言状態、記憶障害、精神障害、知能障害、痙性対麻痺で、感染地域及び感染経路は不明です。本年初めての報告です。
- ・ 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が2例(70歳代及び90歳代男性)あり、いずれも症状は発熱、菌血症です。本年初めての報告です。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(70歳代女性)(第2週追加報告分)あり、本年の累積報告数は4例となりました。
- ・ 梅毒の報告が1例(20歳代男性)あり、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は2例となりました。
- ・ 百日咳の報告が3例(10歳代男性及び女性、40歳代女性)(全て第2週追加報告分)あり、本年の累積報告数は4例となりました。
- ・ 麻しん(検査診断例)の報告が1例(20歳代男性)ありました。症状は発熱、結膜充血、発疹です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年初めての報告です。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は、前週の31.67(2,185例)から45.22(3,120例)、全国でも前週の38.54から53.91と増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 9例(肺結核 3例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 13例(肺結核 4例, その他結核 4例, 潜在性結核感染者 5例)うち喀痰塗抹陽性 1例】
- ・ 四類: E型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 四類: オウム病 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 四類: レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 4例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 五類: クロイツフェルト・ヤコブ病 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: 侵襲性インフルエンザ菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類: 百日咳 3例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 五類: 麻しん(検査診断例) 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

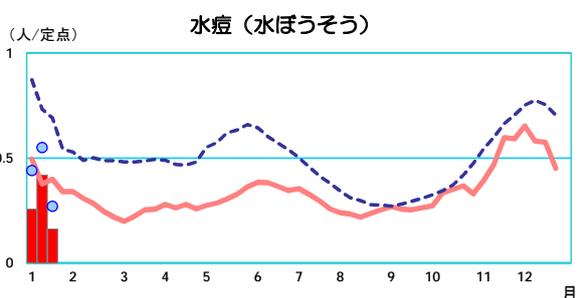
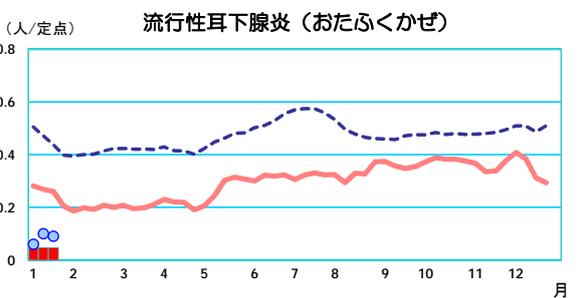
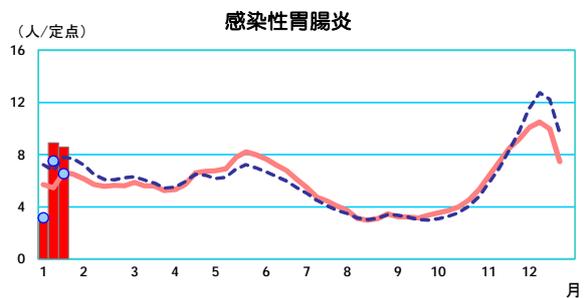
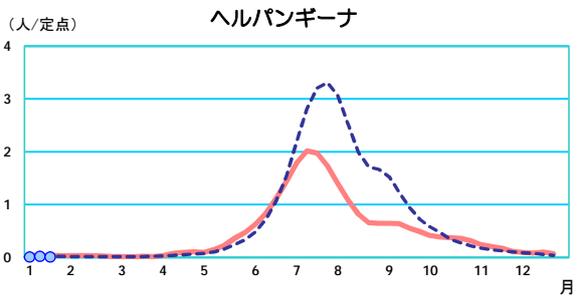
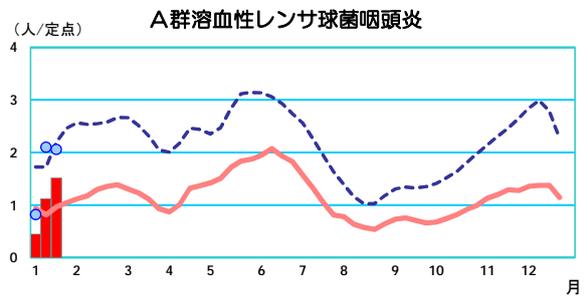
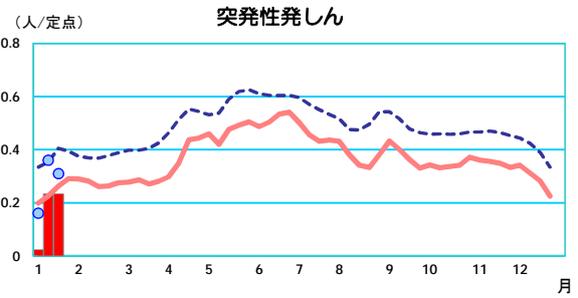
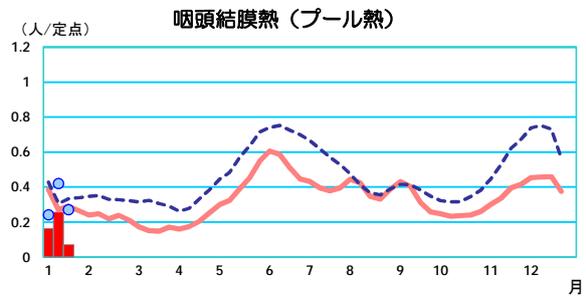
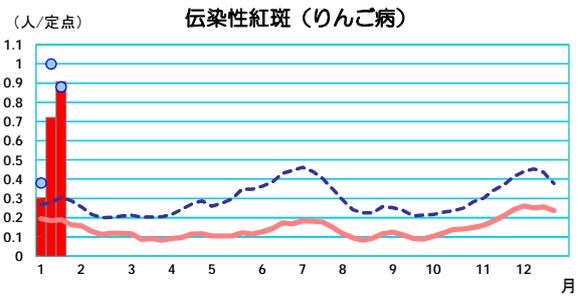
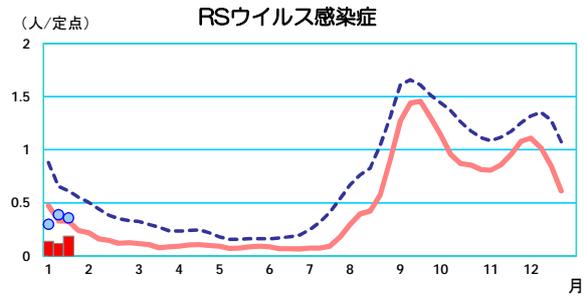
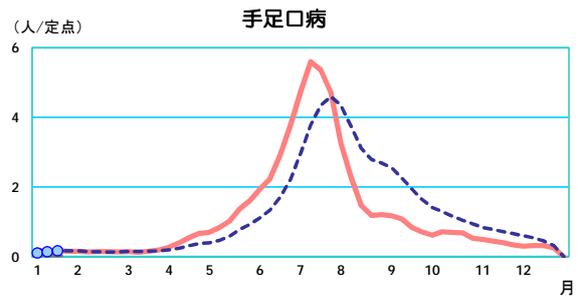
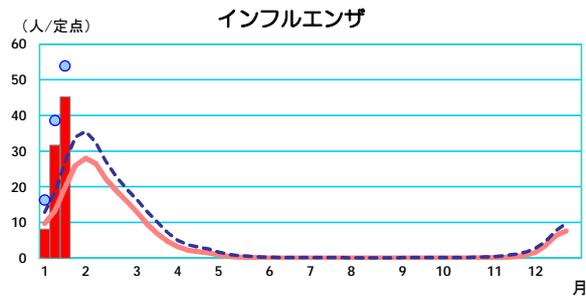
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	45.22	3,120
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.58	369
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.51	65
	③ 伝染性紅斑	0.91	39
	④ 突発性発しん	0.23	10
	⑤ RSウイルス感染症	0.19	8
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、2019年1月24日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第3週(1月14日～1月20日)トピックス: <インフルエンザ>

<京都市及び全国の発生動向>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は、前週の31.67(2,185例)から45.22(3,120例)、全国でも前週の38.54から53.91と増加しました(図1)。都道府県別報告数では、警報レベルの指標である「30」を44都道府県が超えており、全国的に流行が拡大しています(図2)。

年齢階級別定点当たり報告数を見ると、20歳未満の区分が第2週以降大幅に増加しています(図3)。この区分は、保育所・幼稚園・小・中・高校等に通園・通学する年齢層に当たります。国立感染症研究所のホームページに掲載されている休校・学級閉鎖等の集計によると、京都市の休校等施設数も今週急増しています(図3)。

特にこれらの施設では予防策を徹底するとともに、万一感染、発症した場合には、発症後5日以上を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児は3日)以上を経過するまでは、学校保健安全法により出席停止となっていますので、医師および施設の指示に従い感染拡大を防いでください。

<治療と予防>

抗インフルエンザ薬を治療に用いる際は、慎重に必要性を検討することが求められています。その効能は、発病後2日以内に服用すれば、症状の軽減、罹病期間の短縮が期待できます。

なお、予防に用いることができる対象者の方は、インフルエンザを発症している患者の同居家族又は共同生活者のうちハイリスク*の方とされています。

日常生活の中での予防法は、十分な睡眠をとり、抵抗力を高めた上、人混みを避け、それが避けられない場合にはマスクを着用しましょう。また、外出後のうがいや手洗いを励行することが重要です。

- *ハイリスクの方:①高齢者(65歳以上)、②慢性呼吸器疾患又は慢性心疾患患者、③代謝性疾患患者(糖尿病等)、④腎機能障害患者

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

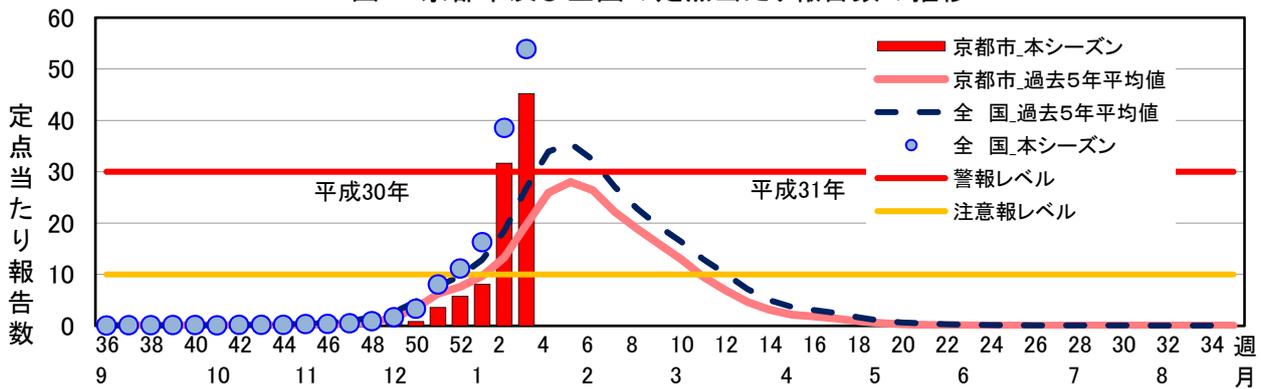


図2 都道府県別定点当たり報告数

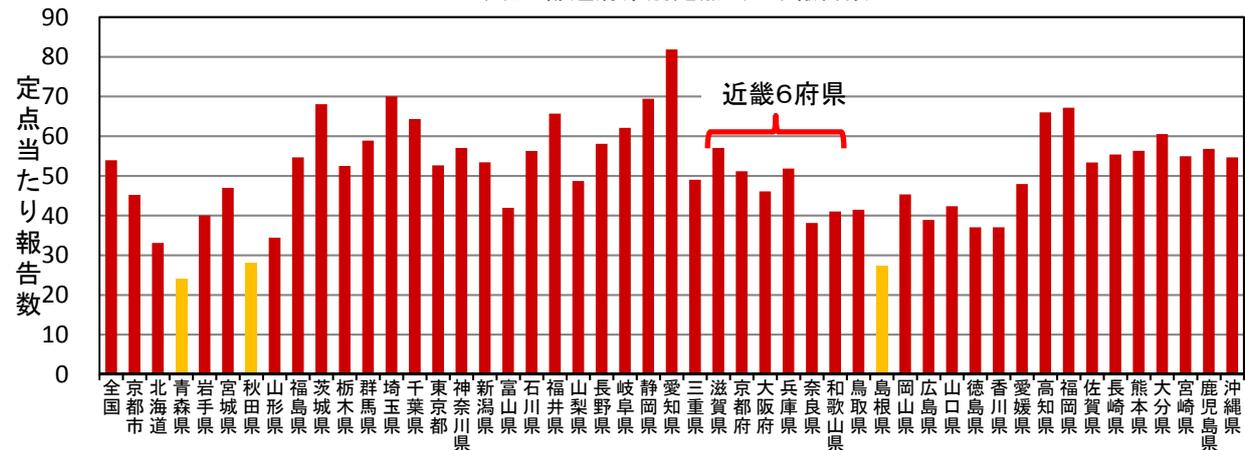
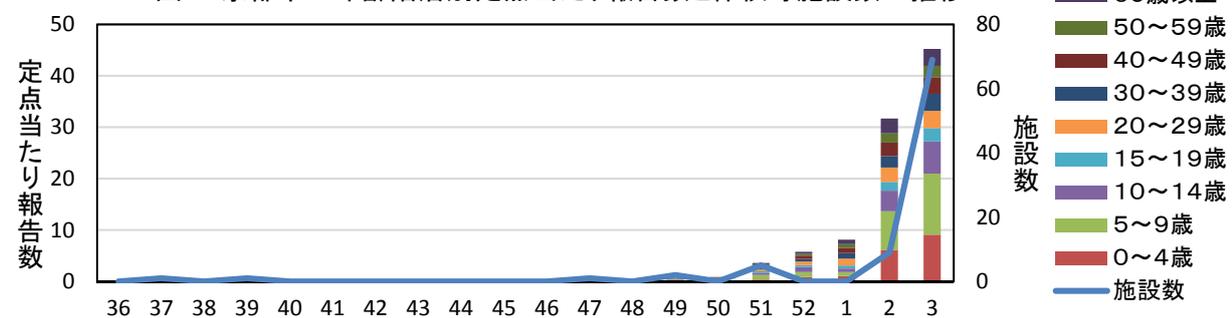


図3 京都市の年齢階層別定点当たり報告数と休校等施設数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第3週

疾病,行政区別報告数

2019年1月14日～2019年1月20日

データ入手日:2019年1月24日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	191	1	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-						
上京	190	-	-	6	16	2	-	-	1	-	-	-	-						
左京	271	4	-	2	41	-	-	3	-	-	1	-	-						
中京	185	-	1	12	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	115	-	-	1	30	1	-	-	-	-	-	-	-						
山科	361	-	-	2	7	-	-	3	1	-	-	-	-						
下京	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	427	-	-	5	27	-	2	5	1	-	-	-	-						
右京	435	-	2	23	89	-	-	4	-	-	-	-	1						
伏見	508	2	-	8	104	3	-	4	5	-	-	-	-						
西京	357	1	-	6	32	1	-	20	1	-	1	-	-						
京都市計	3,120	8	3	65	369	7	2	39	10	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	27.29	0.25	-	-	0.75	-	-	-	0.25	-	-	-	-						
上京	38.00	-	-	2.00	5.33	0.67	-	-	0.33	-	-	-	-						
左京	38.71	1.00	-	0.50	10.25	-	-	0.75	-	-	0.25	-	-						
中京	37.00	-	0.33	4.00	6.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	38.33	-	-	0.50	15.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
山科	51.57	-	-	0.40	1.40	-	-	0.60	0.20	-	-	-	-						
下京	26.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	85.40	-	-	1.67	9.00	-	0.67	1.67	0.33	-	-	-	-						
右京	54.38	-	0.40	4.60	17.80	-	-	0.80	-	-	-	-	1.00						
伏見	46.18	0.29	-	1.14	14.86	0.43	-	0.57	0.71	-	-	-	-						
西京	44.63	0.20	-	1.20	6.40	0.20	-	4.00	0.20	-	0.20	-	-						
京都市計	45.22	0.19	0.07	1.51	8.58	0.16	0.05	0.91	0.23	-	0.05	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第3週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年1月14日～2019年1月20日

データ入手日:2019年1月24日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	3,120	9	38	102	155	150	172	172	196	189	148	116	430	181	231	228	224	151	108	71	49	
RSウイルス感染症	年齢3	8	3	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		3	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		65	-	-	2	1	10	5	13	8	7	4	3	5	1	6	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		369	1	21	62	43	38	26	25	14	17	16	14	36	12	44	-	-	-	-	-	-	-
水痘		7	1	-	-	1	1	-	1	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		39	-	1	4	2	3	8	4	9	-	2	1	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		10	-	1	7	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	45.22	0.13	0.55	1.48	2.25	2.17	2.49	2.49	2.84	2.74	2.14	1.68	6.23	2.62	3.35	3.30	3.25	2.19	1.57	1.03	0.71
RSウイルス感染症	年齢3	0.19	0.07	0.02	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.07	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.51	-	-	0.05	0.02	0.23	0.12	0.30	0.19	0.16	0.09	0.07	0.12	0.02	0.14	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		8.58	0.02	0.49	1.44	1.00	0.88	0.60	0.58	0.33	0.40	0.37	0.33	0.84	0.28	1.02	-	-	-	-	-	-
水痘		0.16	0.02	-	-	0.02	0.02	-	0.02	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.05	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.91	-	0.02	0.09	0.05	0.07	0.19	0.09	0.21	-	0.05	0.02	0.07	-	0.05	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.23	-	0.02	0.16	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第3週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年1月24日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	57	247	458	559	2,185	3,120
RSウイルス感染症	10	11	16	6	5	8
咽頭結膜熱	17	18	23	7	11	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	67	71	45	19	48	65
感染性胃腸炎	351	391	303	130	383	369
水痘	29	25	21	11	18	7
手足口病	21	18	11	5	4	2
伝染性紅斑	19	18	27	13	31	39
突発性発しん	18	6	13	1	10	10
ヘルパンギーナ	8	5	2	1	1	-
流行性耳下腺炎	1	3	2	2	2	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	4	3	1	8	1
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	602	817	924	755	2,706	3,626

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	0.83	3.58	6.64	8.10	31.67	45.22
RSウイルス感染症	0.23	0.26	0.37	0.14	0.12	0.19
咽頭結膜熱	0.40	0.42	0.53	0.16	0.26	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.56	1.65	1.05	0.44	1.12	1.51
感染性胃腸炎	8.16	9.09	7.05	3.02	8.91	8.58
水痘	0.67	0.58	0.49	0.26	0.42	0.16
手足口病	0.49	0.42	0.26	0.12	0.09	0.05
伝染性紅斑	0.44	0.42	0.63	0.30	0.72	0.91
突発性発しん	0.42	0.14	0.30	0.02	0.23	0.23
ヘルパンギーナ	0.19	0.12	0.05	0.02	0.02	-
流行性耳下腺炎	0.02	0.07	0.05	0.05	0.05	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.40	0.30	0.10	0.80	0.10
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	13.81	17.14	17.71	12.74	44.40	57.06

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。